

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年1月17日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690200102
法人名	特定非営利活動法人 こしき風林火山
事業所名	グループホーム 多喜人
所在地	鹿児島県薩摩川内市市里町里470番地 (電話) 09969-3-2127
自己評価作成日	令和2年11月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年12月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「甕大橋」の完成で上甕島と下甕島が1つになり話題となっている甕島。その甕島の里町、有名な観光名所の1つである武家屋敷通りに当施設がある。平成19年11月1日事業開始。

地域特性上、近隣住民は昔からの知り合いが多く、一歩外に出れば近隣住民との会話が弾む。野菜等の差し入れも多く、住み慣れた地域の中で生活できている実感を持てる。そのため、利用者の孤立感も軽減できていると思う。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は甕島里の静かな住宅地に立地し、利用者と近隣住民が昔なじみという生活環境である。現在は2ユニットの内1ユニットのみを運営しており、デイ利用者も3名受け入れている。

- ・コロナ感染防止の為、面会・外出制限や地域行事の中止・運営推進会議の書面開催などがあり、家族や地域との交流が困難な状況である。甕島はコロナウイルス感染者が発生していないこともあり、家族の要望を受けて島内居住の家族の面会を受け入れ、利用者及び家族の心身の安定を図っている。

- ・事業所内の清掃と適切な言葉遣いに留意し、利用者には不快な気持ちを与えないような支援に取り組んでいる。技能実習生を受け入れていることもあり、日常の業務の中でケアの1つ1つを確認し、全員が同じように実施できるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内で最も目立つ場所に掲示し、共有しやすい環境をつくっている。	理念は目につきやすいホールに掲示し、職員各自が確認し実践に繋げている。職員会議で話し合い、受け入れている技能実習生にも理解できるように、日々の業務の中でケアの振り返りと確認を行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	当該自治会（村西自治会）に加入し、地域の情報を把握し、地域行事にも可能な限り参加している。	自治会に加入し役員を担っている。今年度はコロナ感染防止の為、自治会活動を自粛しており地域住民との交流は、散歩や買い物時の挨拶と住民からの野菜や魚等の差し入れ時等に交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域への支援は職員が個別にできる範囲でおこなっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員も殆どが顔馴染みであり、利用者のこともよく理解されているため、活発な意見が出やすい。	2ヶ月毎に書面開催となっている。行事報告・利用者の状況・コロナ感染防止対策・外部評価結果報告などを報告し、個々に意見交換を行い、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	薩摩川内市役所里支所が近所にあり、各種代行申請等行く機会が多く、情報交換しやすい。	支所の担当者とは、報告や申請に出向いた際に情報交換を行っている。本庁の担当者とは電話やメール・FAXで連携を図っており、生活保護担当者とも同様に対応し協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体的拘束適正化委員会を設置し、身体拘束は絶対におこなわないケアをしている。また、身体拘束の具体的な内容を正しく理解することも随時おこなっている。	指針が有り、委員会を3ヶ月に1回実施している。事例検討で具体的な理解を深めるよう取り組んでおり、スピーチロックについては言葉の表現の方向を学習し、不適切な言葉は施設長から注意をしている。日中の玄関の施錠はしない等、利用者が自由に生活できるように取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を設置し、虐待を絶対におこなわないケアをおこなっている。また、虐待の具体的な内容を正しく理解することも随時おこなっている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護や成年後見制度の事例がなく、理解する機会も殆どない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所申し込み時は原則本人及びご家族に来園いただき、施設見学や重要事項説明後記入していただく。入所時にも再度重要事項説明をおこなったうえで契約している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者は日常会話の中で把握し、ご家族には面会時や自宅訪問等で要望等確認している。</p>	<p>本人からは日常の会話の中で要望を聞いている。家族からは毎月管理者が請求書を持参し、近況報告と共に要望も聞いている。面会についての要望が出されたことから、感染症対策を実施し、島内居住の家族は居室で、その他は別室での面会を個別に検討して対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>運営推進会議や随時自宅訪問、電話連絡やメール等で確認するようにしている。</p>	<p>施設長や管理者は職員会議や食事会で職員の提案等を聞いている。処遇面についての要望も出され、処遇改善費等も最大限利用して可能な限り反映している。個別相談は、副施設長が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>業務に対する姿勢等を評価し、賞与にて反映するようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>立地等の問題により外部研修の機会が少ないため、施設内研修を多くおこなうようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修があった際には、同業者との交流を図るようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前訪問が重要であると考え、コミュニケーション等により環境変化や精神的変化の緩和につとめるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所申込時より継続的にかかわり、入所前の自宅訪問や入所後の訪問、電話連絡等で情報収集につとめ、環境整備に配慮している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所申込時、必要に応じてその他のサービスの説明も併せておこなっている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の生活リズムが職員の都合で左右されないように注意している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族への状況報告は定期的な文書による報告や電話連絡等おこなっている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>私物購入や理美容等本人やご家族の希望がある場合は、可能な限り対応するようにしている。</p>	<p>家族との面会や電話・メールでの交流を支援し、馴染みの人との関係が途切れないように努めている。自宅付近等の馴染みの場所にドライブに出かけることもある。馴染みの美容室から3ヶ月毎に訪問があり、希望があれば同行している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者が自室に閉じこもりにならないよう、茶話会やレクリエーション等交流の機会を多く設けるよう配慮している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後の状況確認、面会等は可能な限りおこなうようにしている。また、ご家族との関係も継続している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の状態確認やコミュニケーションの中で本人の希望や意向を確認、情報共有し、利用者本位の介護につとめている。	日常の関わりの中で声かけして思いを把握している。ホールでの雑談等の何気ない機会に要望を話されることが多く、刺身が食べたい等の要望がある。意思疎通が困難な場合は家族の情報や入居前の生活・日頃の関わりの中から推測し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の事前訪問を重要視しており、入所までのかかわりを通して環境整備に反映している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	現状を確実に把握、理解し、利用者の生活リズムの把握につとめている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議や朝礼等で各利用者の状況や変化等を情報共有している。	家族の意見は面会や自宅訪問時に把握している。担当者会議を実施し、本人・家族・医師・看護師・施設長・職員で話し合って介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、年1回及び状況変化時に計画を見直し現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を作成、記入し、情報共有を図るとともに、職員間での申し送り帳を作成、共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者本位の立場となり、利用者の意向が出できる限り反映できるよう配慮している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域とのつながりを大切にし、地域行事への参加等おこなっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からのかかりつけ医を原則継続し、定期往診をいただいている。体調変化時の受診も施設対応している。	契約時に本人・家族の希望を確認し、かかりつけ医の継続を支援している。月2回の往診を行い、緊急時は主治医の指示を受け対応している。島外の専門医受診の際は、家族と施設長が同行している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	他職種協働により、主治医との連携を図っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	利用者の入院は本土医療機関であることが多い。入院後は入院医療機関との密な連携、随時の面会等を通し、退院時のスムーズな受け入れ等に配慮している。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入所時に重度化や看取りに対する意向を確認し、その後状態変化時に随時確認するようつとめている。	契約時、重度化や終末期に向けた方針を説明している。状況が変化するにつれ主治医から家族へ説明を行い、家族の意向を確認している。特別養護老人ホームやホームでの看取りの選択肢のあることを伝えている。看取りの事例がある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時マニュアル等により、適切に対応できるよう、随時確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な避難訓練やその他不定期におこなわれる行政の訓練等にも可能な場合は参加するようにしている。</p>	<p>年2回消防署の協力を得て、昼夜想定で避難訓練を実施している。緊急通報装置の点検や近隣の応援隊の声掛けをして地域の協力体制が築かれている。応援隊には小組合の会長や近隣住民が入っている。備蓄は米・水・カンパン・カップ麺・レトルト食品等を用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員と利用者・ご家族が昔からの知り合いという場合が多く、そのことにより利用者・ご家族と馴れ合いになってしまわないよう注意している。	接遇研修を行い、誇りやプライバシーを損ねない声掛けや対応に努め、馴れ合いにならないように気配りしている。入室時のノック・入浴介助・排泄介助等に配慮している。申し送りは利用者に聞こえないように行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の意向や希望を確実に把握できるようなコミュニケーションをおこなうようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムを把握し、その生活リズムを守れるように配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自己決定が困難な利用者は、職員が確認しながらおこなっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	全利用者が食事を楽しみにされている。地元の食材を多く使用し、家庭的な食事の提供に配慮している。	調理担当で地元の食材を使用し調理している。形態や嗜好に応じて提供している。誕生日のケーキ・敬老の日・クリスマスは特別メニューで、行事でのノンアルコールも提供し、食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	記録表を作成し、食事・水分摂取量を確実に記録・共有している。医療機関やご家族への報告等にも活用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	全利用者毎食後の口腔ケアを確実にこない、記録している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を作成、記録し、利用者の排泄パターンを把握しトイレ誘導等おこなっている。	日中はトイレでの排泄を基本に支援しており、個々の排泄パターンに応じて声掛けや誘導等を行っている。夜間は、利用者の身体状況等を考慮しポータブルトイレやオムツも使用している。業者に、個々に応じた適切な排泄用品の選択について相談している。パットの選択肢も試み経費節減し、自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく緩下剤を使用しないケアにつとめている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日を設けておらず、利用者の状況に合わせて入浴できるよう配慮している。	入浴は週に2回、日を決めないで柔軟に行っている。その日の気分や体調により清拭や足浴・シャワー浴もしている。入浴を嫌がる場合はタイミングを見て声かけし、気持ち良く入浴している。必要に応じての2人介助や排泄失敗時のシャワー浴もしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	精神面での安定やコミュニケーション等により不安軽減を図り、なるべく安眠できるよう対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を作成しており、種類や効能を記載し、服薬チェックをおこなっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外出希望時の対応や日々のレクリエーションの実施、ドライブ等、気分転換への配慮をおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>馴染みの店での私物購入や理美容店、自宅訪問等可能な限り本人の希望に沿えるように配慮している。</p>	<p>天気の良い日は近隣を散歩している。甕大橋の開通時にはドライブに出かけた。個別対応で希望に応じて買い物や自宅訪問を行っている。コロナ感染症対策で家族との外出が難しいこともあり、できるだけ希望に沿って出かけられるよう取り組んでいる。美容室に行ったり自宅を見に行くこともある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣い程度のお金を管理している利用者があり、私物購入等おこなっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話や手紙等、利用者の希望に沿うよう対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>施設内の「匂い」を重視しており、毎日の清掃に取り組んでいる。また、季節感を感じられる装飾品等配慮するようにしている。</p>	<p>オゾン発生器や加湿器・エアコンで適度に室内環境を調節し、掃除が徹底し清潔である。換気をこまめにしている。昼敷きのコーナーもある。テーブルの配置も考え、季節の飾り物を置き、利用者が居心地よく過ごせるように気配りしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>畳やテーブル等設置し、交流の場を多く提供できるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはなるべく自宅で慣れ親しんだ物を置いていただくようお願いしている。希望者には畳敷きも対応している。</p>	<p>居室には、ベッドやタンス・エアコンが備えられている。本人が使い慣れたタンスや寝具・テレビ・ラジオを持ち込んだり、家族の写真や作品・手紙を飾っている。希望で畳敷きにもでき、本人が自宅と同じような環境で安心して過ごせるような工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内は全てバリアフリーとなっており、移動がスムーズに安全におこなえるようになっている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない